

## 新産業廃棄物最終処分場整備調査特別委員会 会議結果

1 開催日 令和3年2月15日（月）

2 出席者 22名

(1) 特別委員会委員 8名

(2) 説明員

ア 茨城県 4名

県民生活環境部長、県民生活環境部 次長、県民生活環境部 廃棄物対策課 課長、  
県民生活環境部 廃棄物対策課 新最終処分場整備室長

イ 一般財団法人 茨城県環境保全事業団 1名

副所長兼技監兼施設課長

ウ 日立市 5名 生活環境部長 ほか

(3) 議会事務局 4名

### 3 会議概要

茨城県から説明を受け、質疑を行った。なお、説明の内容及び委員からの主な意見は、次のとおりです。

#### (1) 新産業廃棄物最終処分場整備に向けた課題への対応策について

##### ア 新たな搬入ルート

山側道路から新処分場へ直接つながる新たな道路（幅員8m）を整備する。なお、油縄子交差点からの搬入は行わない。

##### イ 交通安全対策・渋滞対策

油縄子交差点を改良（右折レーンの延長・設置）し、現状の交通渋滞を緩和するとともに、歩道整備や局部改良など交通安全対策を行う。

##### ウ 中間処理施設

民間事業者による整備・運営が図られており、公共関与による施設整備の必要性が認められないことから、中間処理施設は整備しない方針とする。

##### エ 周辺環境への影響

地盤・地質及び地下水の状況を確認するため、ボーリング調査や水文調査を実施しており、その結果を踏まえ、必要な対策を講じていく。

##### オ 受入廃棄物の安全性

廃棄物処理法より厳しい基準による受入れや契約前の事前調査を徹底するほか、搬入時の内容検査においては、最新技術を活用した検査システム導入についても検討を進める。

##### カ 地域振興策

大平田地区への上下水道整備など、生活環境の向上に必要なインフラ整備のほか、候補地周辺の諏訪梅林・かみすわ山荘等の地域資源を活かした周辺環境の整備等、地域振興につながる取組を行う。

##### キ 整備スケジュール（案）

令和7年度中の供用開始を目指し、搬入道路の新設や建設工事を含めた全体の整備スケジュール（案）が示された。

## ■ 委員の主な意見

新たな搬入道路の整備のほか、中間処理施設を整備しないことなど、住民説明会においても課題とされていた点について具体的な方針等が示された。今後は、フォローアップ説明会において住民に丁寧に説明するとともに、その結果について速やかに当委員会に報告するよう求めた。

### (2) フォローアップ説明会の開催について

候補地周辺の4学区と市内全体を対象とした説明会の開催時期等が示された。

### (3) 請願等について

継続審査となっている2件の請願については、今後のフォローアップ説明会における住民からの意見等について県から報告を受けるとともに、委員各位も考え方を整理し、次回の委員会で改めて審査することとした。

以 上